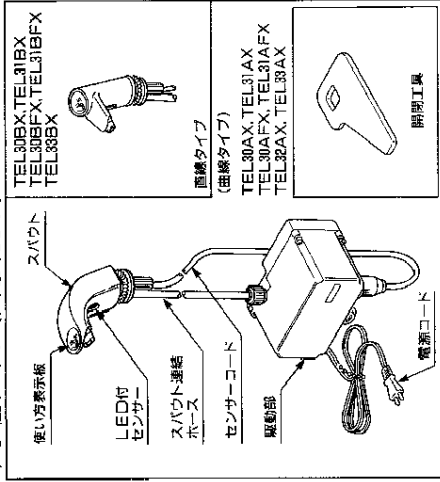


アクアオート(自動水栓)取付説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

仕 様

単水栓タイプ(AC100V)



電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	一般地仕様 常時2W (作動時5W) 寒冷地仕様 常時2W (作動時15W)
電 源 コ ー ド	1m
給水圧力	最低必要水圧 (流動時) 0.05MPa (0.5kgf/cm ²) 最高水圧 0.74MPa (7.5kgf/cm ²)
給 水 部 接 続	15A
周囲使用温度範囲	0℃～55℃
湿度範囲	-10℃～55℃(無風)
周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感 知 距 離	自動設定 (学習機能内蔵)

スパウト形状は製品番号によって異なり、下表のように曲線タイプと直線タイプがあります。

デザイン	製品番号	備 考
スパウト形状	TEL30AX、TEL31AX	使い方は概ね有り(一般地品)
	TEL32AX、TEL33AX	使い方は概ね無し(一般地品)
直線タイプ	TEL30AFX、TEL31AFX	使い方は概ね有り(寒冷地向品)
	TEL30BX、TEL31BX	使い方は概ね有り(一般地品)
	TEL33BX	使い方は概ね無し(一般地品)
	TEL30BFX、TEL31BFX	使い方は概ね有り(寒冷地向品)

*寒冷地向品(TEL30AFX、TEL31AFX、TEL30BFX、TEL31BFX)については、必ず別売の凍結予防機能(TEC6)とセットでご使用ください。流動方式で凍結予防効果を発揮します。

取 付 け 前 に

- 電気製品ですので駆動部に水をかけないようご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
- 電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
- 寒冷地向品の電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は15Wです。また、駆動部裏側には、アース端子付です。必ず第3種接地工事を行い、アース線を接続ください。なお、アース線は現場でご用意ください。
- 使用電線:600Vビニール絶縁電線又はケーブル(φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mm²のより線)。
- 乾電池タイプは配線工事は不要です。(付属の電池をご使用ください)。
- 給水圧力範囲は、0.05～0.74MPa(0.5～7.5kgf/cm²)です。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
- センサー一面を傷つけない様十分ご注意ください。
- スパウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますのでその間は、センサーに手をかけたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。

給水取出し位置一覧表

(注)陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は次表を参考の上取付けてください。

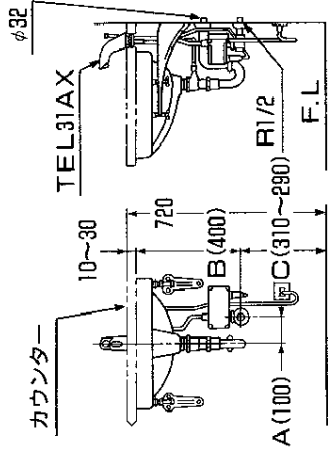
自動水栓	取付可能洗面器	寸法		
		A	B	C
TEL30AX	L5・D	115	410	350
(ADX)	L7	80	カ	310
TEL31AX	L8	カ	カ	350
(AFX)	L34	145	カ	カ
TEL30AFX	L103A	100	420	300
(BFX)	L20S・DS	カ	カ	カ
TEL30BX	L221・D	カ	カ	カ
(BDX)	L230S・DS	130	カ	カ
TEL331AX	L237・D	100	カ	カ
(3AX)	L331RA	カ	カ	カ
	L507A	カ	カ	カ
	L882	カ	カ	カ
TEL330RC	L330RC	100	420	300
(3RC)	L382C	カ	カ	カ
TEL3310FC	LS610FC	170	カ	カ
(10FC)	L517	100	カ	カ
TEL31AFX	L525C	カ	カ	カ
(BFX)	L537	カ	*400	290～310
TEL31BX	L548	カ	*カ	カ
(3BX)	L548	カ	*カ	カ
TEL33850C	LS850C	カ	420	300
(850C)	L851C	カ	カ	カ
TEL3381C	L381C	カ	*450	240～260
(381C)	L582C	カ	*カ	カ

*印はカウンター下面からの寸法でカウンターの厚さは10mm～30mmです。

完成図(例)

(例) L537 + TEL31AXX の場合

アンダーカウンター式洗面器(L537)とのセット例



取付完了後の確認

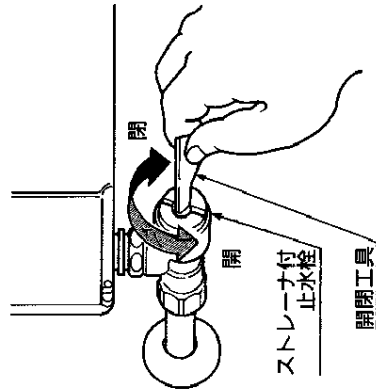
取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 設置後、AC100Vタイプは電源プラグをコンセントへ差込み、乾電池タイプは乾電池をセットしてください。
(この時止水栓は閉めておいてください。)
2. スパウト部のLED付センサーを見て、LEDが点滅していないことを確認ください。もしも点滅していればスパウトの向きを少しかえて、点滅しないところまで再固定してください。(この間、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。)
3. 手洗器・洗面器の種類によっては、LED付センサーのLED点滅が消えない場合がありますが、その場合は、そのまま設置します。
(約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。
なお、10分以内に作業が終了しない場合は、以上の操作(1~3)をやりなおしてください。

4. 止水栓を開いて給水してください。
5. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
6. 何らかの原因で約1分間連続して感知すると自動的に止水します。このような場合は、次のことを確認してください。
 - センサー面が汚れていないか。
 - スパウト部の取付位置が適切か。
 - 洗面器内に物が置かれていないか。

吐水量の調節

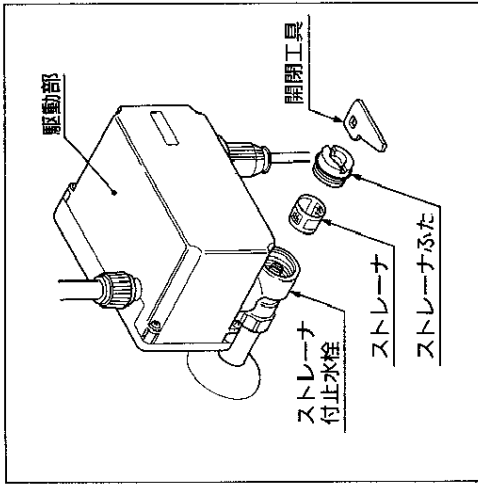
駆動部内部には、定流量弁(5L/min)を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、手洗器等でボールが小さく吐水を絞る必要がある場合は、付属の開閉工具でスパウト付止水栓を回して調整してください。



ストレーナの掃除

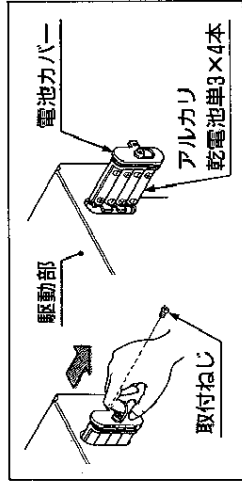
ストレーナがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具を取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもとさき掃除していただくようにご指導ください。

- ストレーナを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を開めた後、ストレーナふたを外してください。



電池装着

- 〈乾電池タイプの場合のみ〉
1. 駆動部中央の取付ねじ1本をプラスドライバーで外し、電池カバーを抜き出し、乾電池(アルカリ乾電池単3×4本)を装着します。(乾電池の取付方向に注意してください。)



2. 乾電池を電池カバーに取付け、駆動部へ差込み、取付けねじで取付けます。
(注)電池カバーは確実にはめ込んでください。
- (注)電池を入れる際駆動部内に水が入らないようご注意ください。
- (注)最初は付属の乾電池をご使用ください。

電池交換

〈乾電池タイプの場合のみ〉
駆動部の乾電池が切れると、スパウト部センサー内のLEDが、数日間感知するたびに1秒間隔で点滅します。また、機能が停止していれば、まずは電池の交換を行なっていただくよう、お客様にご指導ください。

1. 交換要領(電池装着の項を参照ください)
 - (1) 駆動部中央の電池カバー取付ねじをはずします。
 - (2) 電池カバーを抜き出し乾電池を交換します。
(乾電池の取付方向に注意してください)
 - (注) この際、乾電池は、異種や新旧の電池を混合しないでください。
 - (3) もとどおり電池カバーを差込み、ねじで取付けます。
2. 交換要領をお客様へ説明してください。
なお交換要領の詳細は"ご愛用のしおり"をご覧ください。

お手入れ

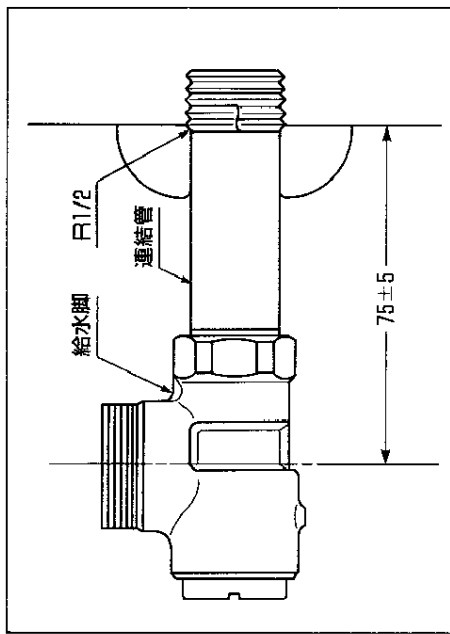
器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は"ご愛用のしおり"をご覧ください。

器具の取付け (その1)

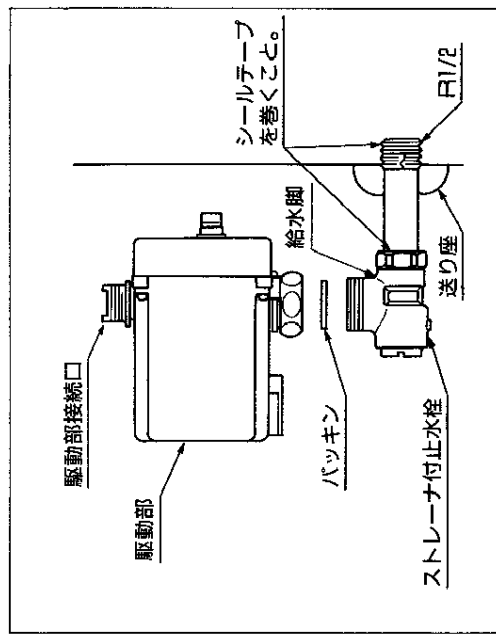
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

① 器具への給水の取出し位置を確認してください。
(注) 給水取出し位置一覽表の項を確認してください。

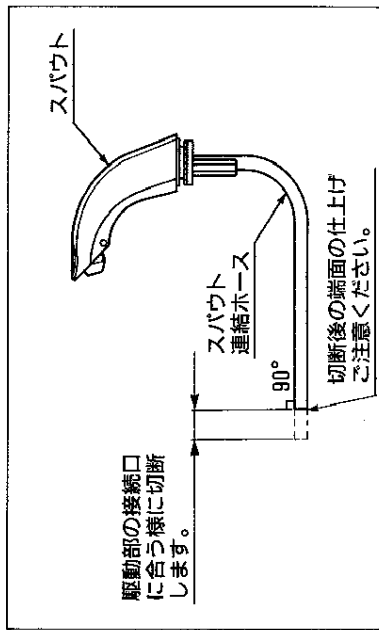
② 自動水栓の給水脚を取付けます。



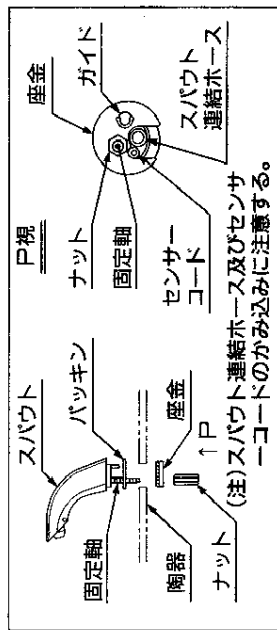
③ 給水脚の袋ナットにパッキンを取付け、駆動部を取付けてください。
(注) パッキンを必ず取付けてください。



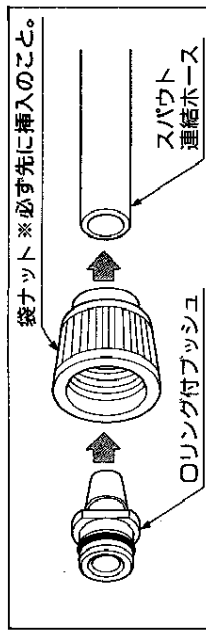
④ スパウトを洗面器に仮固定し、スパウト連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さで切断します。このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。



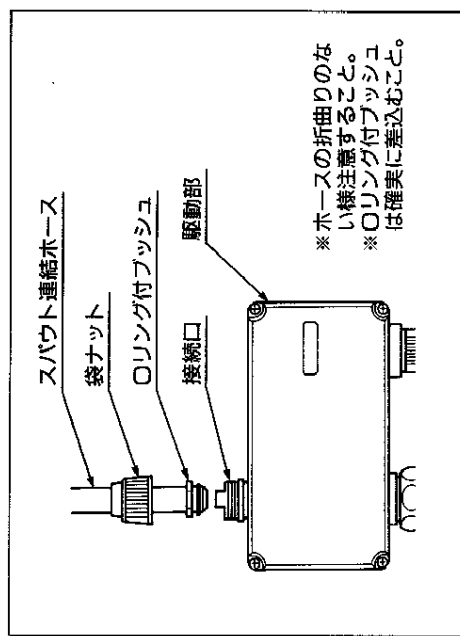
⑤ スパウト部取付下部から、座金をスパウト連結ホースとセンサーコードのかみ込みに注意して取付けます。座金をとめるナットは、スパウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。



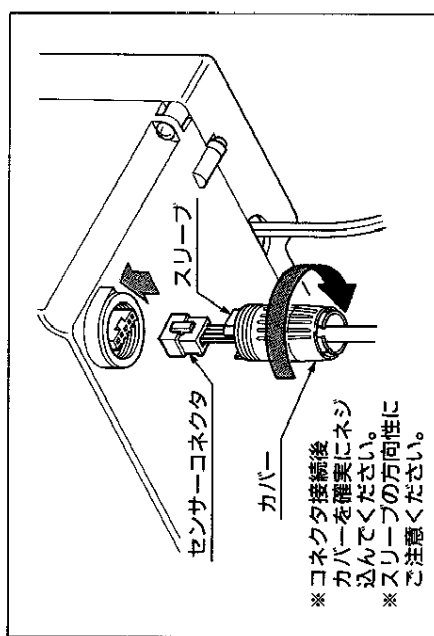
⑥ スパウト連結ホースに端面から、袋ナットを通して後、リング付きブッシュを差込みます。



⑦ リング付ブッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締めます。リング付ブッシュが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めにて行ってください。



⑧ センサーコネクタを接続します。
コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締付けは、手締めにて確実に行ってください。
(注) スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。



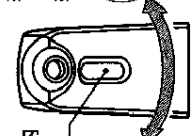
器具の取付け (その2)

⑩ スパウトを陶器に本固定します。
 (注) スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。

排水口	スパウト	ボール面中心	排水口	スパウト	ボール面中心	陶器品番	α(°)	陶器品番	α(°)	陶器品番
排水口	スパウト	ボール面中心	排水口	スパウト	ボール面中心	・L5B・D ・L34	約40° 〃	・L210S・DS ・L331RA	約60° 〃	・L7 ・L8 ・L330RC ・L332C ・LS510RC ・L517 ・L525C ・L537 ・L546 ・L548 ・L581C ・L582C ・L832 ・LS850C ・L851C
						・L108A ・L210S・DS ・L221・D ・L237・D ・L507	約70° 〃 〃 〃			

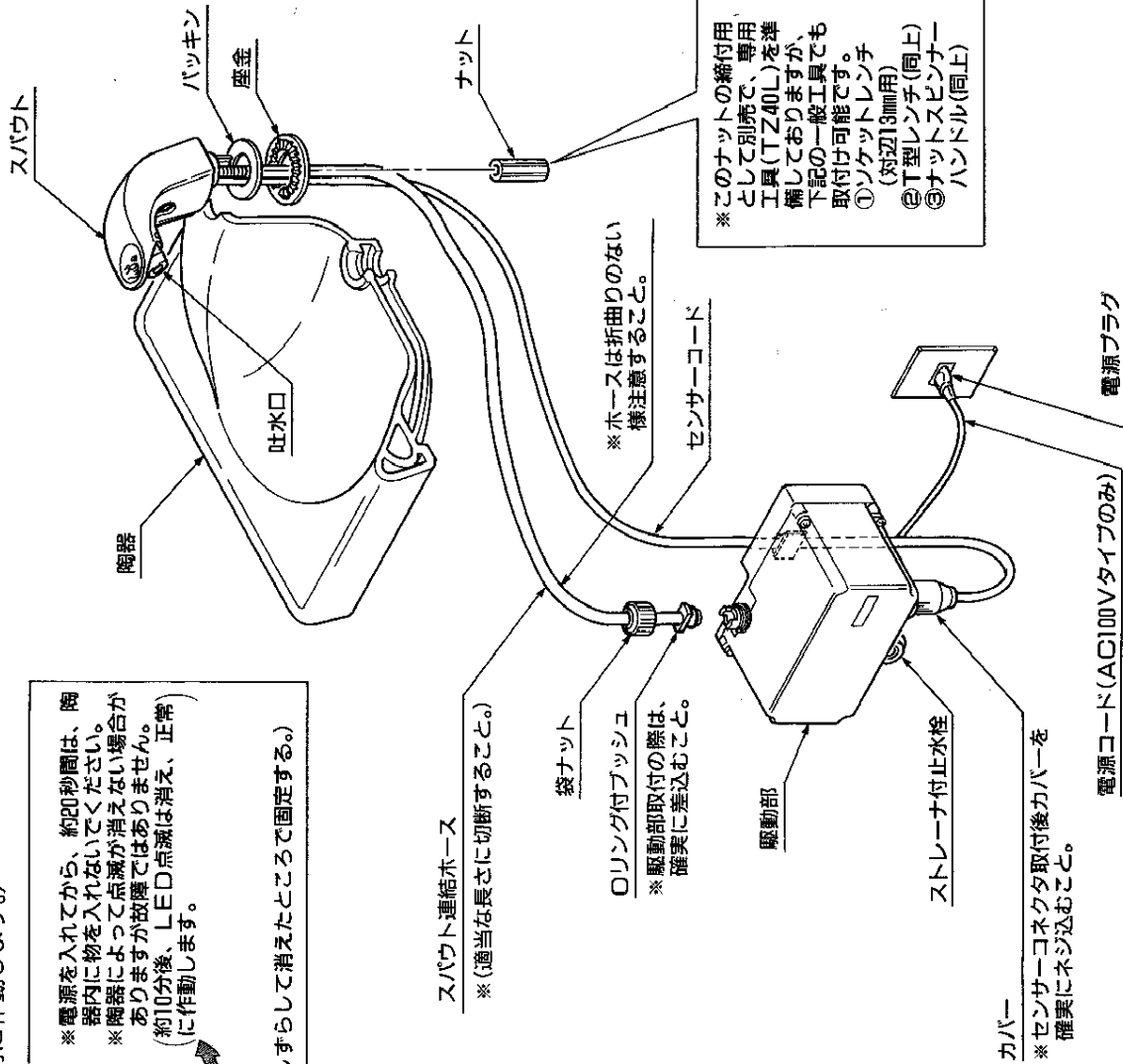
● 電源を入れてから約10分間は、感知しても点滅しますが、故障ではありません。(約10分後、LEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)

センサー内LED



※ 電源を入れてから、約10秒間は、陶器内に物を入れないでください。
 ※ 陶器によって点滅が消えない場合がありますが、故障ではありません。
 ※ 約10分後、LED点滅は消え、正常に作動します。

(点滅していれば少しずらして消えたところで固定する。)



スパウト連結ホース
 ※ (適当な長さに切断すること。)

袋ナット
 オリング付ブッシュ
 ※ 駆動部取付の際は、確実に差込むこと。

※ ホースは折曲りのない様注意すること。

※ このナットの締付用として別売で、専用工具(TZ40L)を準備しておりますが、下記的一般工具でも取付け可能です。
 ① ソケットレンチ (対応13mm用)
 ② T型レンチ (同上)
 ③ ナットスピナーハンドル (同上)

カバー
 ※ センサーコード取付後カバーを確実にネジ込むこと。

電源コード (AC100Vタイプのみ)

⑪ (AC100Vタイプの場合)
 ● 電源プラグをコンセントに差込みます。
 ※ 寒冷地用の場合は、アース線接続の確認を行ってください。
 (乾電池タイプの場合)
 ● 駆動部中央の電池カバーを抜き出し、付属の乾電池を装着します。(乾電池の取付方向にご注意ください。)
 ※ 電池装着の順を参照ください。
 ● 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)